

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	26221310	研究期間	平成26年度～平成30年度
研究課題名	Runx2 遺伝子の転写制御機構の解明と、骨粗鬆症・変形性関節症治療薬の開発	研究代表者 (所属・職) (平成29年3月現在)	小守 壽文（長崎大学・大学院医歯薬学総合研究科・教授）

【平成29年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>骨形成に必須の転写因子 Runx2 は変形性関節炎の原因遺伝子の1つであり、本研究では Runx2 の軟骨細胞特異的発現調節機構の解明と制御を目的としている。軟骨細胞特異的エンハンサー領域の特定は大いに進展し、全容の解明まで近づいている。また、骨芽細胞特異的エンハンサーと軟骨細胞特異的エンハンサーとの相互作用に関する新規知見も得られている。加えて、骨芽細胞特異的エンハンサーを用いた Runx2 レポーターアッセイ系を使用して、大がかりな化合物ライブラリーのスクリーニングを行い、有望な Runx2 発現制御化合物を得ることに成功している。エンハンサー欠失遺伝子改変マウスの作成も順調であり、期待どおりの成果が見込まれる。</p>		